

平成28年度 神奈川県立上矢部高等学校 不祥事ゼロプログラム実施結果

目標及び行動計画

	取り組み課題	目標 (達成すべき内容)	達成のための行動計画	実施状況
1	個人情報管理・情報セキュリティー	個人情報を適正に管理し、保護に努める。	①個人情報の取り扱いに関するマニュアルに基づき、個人情報保護について全職員の共通理解を図る。 ②文書の保管期間を明確にし、保管期間が終了した文書の廃棄を徹底する。	①マニュアルを踏まえた管理の徹底を図った。個人情報の収集の調査を行い、その取扱いと保管を注意喚起した。各職員の机のカギの管理を実施し、関係文書の徹底管理を呼びかけた。 ②廃棄確認を徹底し、管理職の確認の下で廃棄を適切に行った。
2	セクハラ・わいせつ行為 【必須事項（全所属）】	人権に配慮した行動の徹底に努める。	①セクハラ・わいせつ行為の事例資料を配付し、不祥事防止の啓発に努める。 ②スクールセクハラに対する研修会を実施する。	①②啓発資料を活用して、生徒の相談しやすい学校環境の整備や日常の接し方などを確認した。その後、ポイントについて定着しているか点検を行った。引き続き日常的な職員同士の声かけを進めていく。
3	体罰・不適切指導 【必須事項（県立学校）】	体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	①体罰防止・不適切指導に向けた啓発資料を配付し、研修会を実施する。 ②生徒指導に関する事例を共有し、全職員の理解を深める。	①部活動指導ハンドブックにより部活動顧問とインストラクターに対して適切な指導について確認した。 ②生徒理解を深めるための学年会や全体会議を定期的実施する中で個々の生徒への具体的な対応について理解を深めた。
4	経理処理（公費、私費、現金管理）	学校徴収金・団体徴収金・部費等の事故を未然に防止する。	①私費会計の事故防止資料を配付し、事故防止会議（全体会）で全職員の理解を図る。 ②私費及び部費の会計担当者を対象として、会計事故防止研修会を実施する。	①4月に私費会計ハンドブックを作成し、事故防止研修を実施した。また、ネットバンキングが活用できるよう条件整備を進めた。 ②7月に会計担当者を集め、帳簿の整理と一括保管を徹底した。
5	業務執行体制	業務執行を適正に行い、事故防止に向けた適切な業務執行体制を構築する。	①法令の諸規定に基づき、日常の点検を行って、適切な業務を遂行する。 ②日常的な報告・連絡・相談体制により情報を共有し、協力して業務を行う。 AED使用法講習会を実施する。	①法令の諸規定に基づき、日常の点検を行い、定期的に各グループの振り返りを行いスモールステップの改善に努めた。 ②「心に係ることは声にしよう」ということを日ごろから呼びかけて、初動の協力体制を整えた。1月にAED使用法講習会を実施した。
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止	酒酔い・酒気帯び運転を防止し、交通事故を未然に防ぐ。	①交通事故のチェックリストを作成し、事故防止会議を通じて交通ルールの遵守と交通安全について確認する。 ②飲酒の身体に及ぼす影響を確認し、自制と注意を喚起する。	①②交通法規の遵守と学期の節目や年末年始における教職員の綱紀保持について個々の認識を高めるためのセルフチェックと管理職の注意喚起を行った。
7	成績処理及び進路関係書類の作成 【必須事項（県立学校）】	成績処理・調査書等に関する事故を未然に防止する。	①定期試験などの作問・採点・成績処理において、複数チェック体制で点検を実施する。 ②調査書・進路関係書類の作成・点検において、適切な業務を行う。	①成績処理業務の確認と一斉点検を適切に行った。 ②文書等の作成から点検、発行まで生徒の進路決定に至る重要な業務であることの認識するとともにチェックの仕方を工夫改善しながら業務の向上に努めた。
8	入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	①入学者選抜業務について適切なマニュアルを作成し、チェックリストに基づいた点検を行う。 ②選考基準及び選考方法について研修会を実施し、事故防止に向けて職員間の共通理解を図る。	①②12月、1月、2月の入学者選抜の研修時に、ポイントを絞った事故防止の事例を踏まえた事故防止について注意喚起した。にもかかわらず学力検査の時間不足の事故が発生してしまい受検生・保護者等にご迷惑をおかけした。2度と起きないように十分な対策のもと更なる事故防止の取組を進めている。
9	公務外非行の防止 【必須事項(全所属)】	公務員としての自覚を持ち、政治的中立を厳守し、法令遵守の行動をとる。	①公務外非行の具体的な事例を教材として、研修を実施する。 ②公務員としての自覚を高めるような様々な機会を捉え注意を喚起する。	①関係法規の遵守や公務員の職務について、校長の講話や過去の啓発資料等により教職員の順法意識を高めた。 ②サービスハンドブックを作成し、基本的内容の理解とともに自覚を高めるよう注意喚起した。
10	管理職による個別面談	教職員の事故防止に対する意識を高めるとともに、日常業務の再点検を行う。	①チェックリストの記入と事故防止への提案聴取。 ②校長、副校長による個別面談。	①不祥事防止啓発資料を研修で活用するとともに提出用のチェックリストを記入回収し結果を公表して個々の振り返りを行って職員理解と定着に努めた。 ②管理職面談時の意見聴取の結果を円滑な業務遂行に生かした。